

個人質問

子育て支援と、聴覚障がい者の支援について伺う！

誠和会

山口 孝弘



子育て支援

市長の公約である
中学校3年生までの
児童医療費の助成につい
て、具体的な考えを伺う。

市長

での医療費助成事
業の拡大は、平成23年4月
から実施する方向で考えま
す。

再

この児童医療費に
ついて、現状の小学
校6年生から中学校3年生
まで引き上げた際、予算は
いくらぐらい必要であると
試算しているのか伺う。

市民部長

中学校1
年生から3
年生までの生徒数は約2千
400人で、国民健康保険
の年齢別の医療費の平均値
を参考に、1人あたり9千
円とし、扶助費を約2千2
00万円と見込んでいま
す。

聴覚障がい者の支援

問

聴覚障がい者にと

個人質問

住みよい八街、発展する八街のために

誠和会

林 修三



冠水対策や排水計画を

問

四区地先の側溝フ
タの改修や八街の排
水整備計画について伺う。

市長

ご指摘の水路の
フタにつきましては
は、一枚の重さが150キ
ログラムもあるため、めつ
たなことでは動かないもの
と認識しておりますが、
近年のゲリラ豪雨のように
短時間で急激に水位が上が
ったときに、水圧によりフ
タが浮き上がり、その結果
外れてしまうということが
何度か起きております。今
後そのようなことが起さら
ないよう対策を講じてまい
りたいと考えています。

今後の排水整備計画につ
きましては、砂地区の流末
排水路の整備を引き続き進
めていくこととしておりま
す。

その他では、各地区から
の要望の中で、その必要性
や費用対効果など精査の
上、順次整備していきたい
と考えます。

全国に誇る八街グルメ
の推奨を

問

グルメ推奨による
まちおこしは、一に
アクション、二にやる気と
スピーディーな取り組み、
そしてメディア活用、組織
連携である。新市長の公約
でも言っており、そのよう
な取り組みをしていただき
たい。そこで、全国に誇る
八街グルメ推奨によるまち
おこしについて伺う。

市長

地域独自の人気
料理や名物料理、
まちおこしの一環で作られ
た料理、いわゆる「ご当地
グルメ」は大変注目を集め
ております。本市において
も、市内で収穫された小麦
を使い、特産品として全国
的に有名な落花生と組み合
わせたパンづくりに取り組
んでおりますが、現に存在
する製品と比較して、特徴
があるものとする必要があ
るため、引き続き試作等を
繰り返すなどして、製品化
に向けた取り組みをしてい

きたいと考えております。
また本年のふれあい夏まつ
りにおいて八街商工会議所
青年部が、八街で生産され
る牛乳を使ったアイスクリ
ームに落花生をトッピング
したものを販売するなど、
新たな八街グルメの開発に
も取り組んでいます。

再

八街グルメ推奨のた
め、商工会議所、い
んなば農協等との連携によっ
て、まちおこしをするとい
う考えについて再度伺う。

経済環境部長

グルメ
推奨

は確かに経済効果はすばら
しいものがあると聞いてい
ます。連携については、J
Aや他の関係団体と連絡を
取りながら、どのような方
向がいいのか検討していき
たいと考えます。

※その他の質問

◆地産地消の推進計画につ
いて

◆中央公民館活動の充実に
ついて

◆スポーツの振興と各グラ
ウンドの充実策について

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは
その場で話されている
言葉を要約して文字に
し、聴覚障がい者に伝え
る通訳方法です。

このコミュニケーション
ツールとして、一般に手話
が知られているが、全国的
に見て、手話を使える割合
は10%。市内の聴覚障がい
者の中にも手話を使えない
方が多く含まれていると考
えられる。
高齢化の中、聴覚に障が
いを抱える方は増加する一
方であるが、人生の半ばで
流暢な手話を身につけるこ
とは困難であり、手話を使
える能力には大きな個人差
が存在する。また、医療現
場などでは、医師とのコミ
ュニケーションの困難が誤
診や事故を引き起こす可能
性さえ秘めている。

そこで、要約筆記の現状
と、その必要性について市

聴覚の障がいを持つ方の
社会参加を促進するため、
今後行事の開催時には、配
慮について検討してまいり

約筆記を設置するよう
しておりますが、参加者が
不明確な場合や行事の形態
によって、不便をおかけし
ている場合もあると思われ
ます。

市長

行事開催時等に
ついては、会議などの参加
者に対象となる方が見込ま
れる場合、手話通訳者や要

問

市の行事における
情報保障として、要約筆記
の積極的な導入を検討する
必要があると考えるが、市

の見解を伺う。

行事開催時等に

市長

聴覚の障がい
による手帳交付者は約2

要約筆記とは